

御代田町 農でつながる女性のための交流会パート2を開講しました！

御代田町では、女性農業者による農産加工や直売、地域の子供達等を対象とした食育などの活動が活発に行われ、地域活性化に大きく貢献しています。その主体は、農村女性ネットワーク御代田と長野県農村生活マイスター御代田地区の皆さんで、こうした活動を次世代にもつなげていくことを目的として、昨年度末に農でつながる女性のための交流会を開催しました。このつながりを深めようと今年度は全4回の日程で、パート2を開催することとなりました。



農でつながる女性のための交流会パート2 開講式

第1回目は、令和元年度12月20日金曜日に「おせち料理」をテーマとして調理実習を行いました。



おせち料理実習の様子

講師には長野市「たちばな箱膳の会」代表の海瀬由美子さんにお越しいただき、約30名の参加者で、おせち料理13品を作りました。それぞれのお料理のいわれや段取り、仕上げ方、材料を余すことなく全て使い切る事など、丁寧なご指導を受け、品数が多い料理を班毎役割分担して、一生懸命作り交流も深まりました。



出来上がったおせち料理

その後、作ったおせち料理での昼食会の中でも、改めてお正月を迎えることの意味などについて海瀬氏より詳しくお話しいただき、毎年同じように過ごしていたお正月でしたが、今回は思いを改に迎えられそうでした。

第2回目は、令和2年1月23日に地元特産のレタスをたっぷり活用したレタスビビンバを中心に、農村女性ネットワーク御代田の会員が講師となって、調理実習を行う予定です。

これまで活躍されてきた農村女性の活動も、次の世代へどう引き継ぐかが大きな課題となっていますが、つながりを作ることから進めようとする御代田町の取り組みが、他の地域のモデルとなるよう期待し、普及センターでも支援していきたいと思っております。



講師の海瀬氏の講義を熱心に聞く参加者